

いせはら 観光ボランティア ガイド&ウォーク協会ニュース

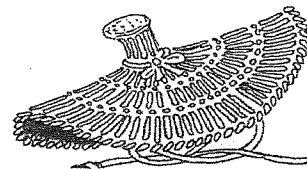
NO292 2023年2月22日発行

事務所・〒259-1126 伊勢原市沼目 5-28-6 鳥海方

電話&FAX. ((0463) 94-6188 は 17:00 以降にお願い致します)



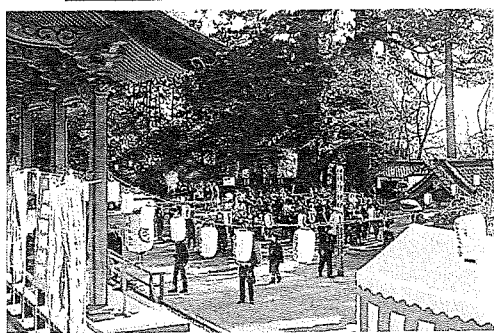
◎観光ボラホームページ <https://kankobora.amebaownd.com/>



☆ウォーク実施に関するお問い合わせ先：鳥海（電話番号は上記枠内）当日の朝 6：30 から 7：30 までをお願いします



日向神社での集合写真



薬師境内でのお粥、炊き出し

撮影者 渡辺 親

日向の初薬師とお粥さん 参加者 九十二名
「初薬師お粥」ウォーキングは一月八日(日)、九十名近くの方が参加して行われました。
県の広報紙にも募集記事を書いたこともあり、多数の参加が予想されていました。また、コロナの影響で三年ぶりの伝統行事だったこともあり、観ボラ役員の入念な準備のもと実施されとことを特筆しておきたいと思います。お正月の清浄な雰囲気の中でいただく、お粥のありがたさ、美味しさ。宝殿での本尊御開帳は、すでに見慣れているはずなのに、少し胸が高まるように感じたのは、薬師如来の靈験でしょうか。このように、深い歴史や優れた文化財があることをもっと知っていただきたいと心から思いました。

前田 秀資 記



吾妻山公園での集合写真

二宮の菜の花・富士と相模湾を一望！ 参加者三十九名
一月三十一日、風もなくウォーク日和の一日となりました。西光寺では御住職のお話を拝聴し、別名「かやの寺」と呼ばれる所以となった当寺の守護木である樹齢五百年のかやの木や百体のお地藏様が安置されている仏殿などを拝見しました。川勾神社の鳥居前には地元の名士伊達時と親交が深かった初代総理大臣の伊藤博文が書いた大きな扁額が置いてありました。川勾神

社は旧相模国の祭事、国府祭(こうのまち)に参加する相模五社の一つで同国二ノ宮にあたり、二宮町の町名はここから来ています。いよいよ本日(日)のハイライトである吾妻山を目指して山道を上ります。上り切った目の前には満開の菜の花畑が広がっていました。黄色の花の先には相模湾がきらきらと輝き、箱根、丹沢の山並が近くに見え、今日は見えないかとあきらめていた富士山も顔を出してくれました。山頂が広いのでゆっくりに写真を撮ったりお弁当を食べたりすることが出来ました。春の訪れにはまだ遠いですが、その気配は感じられました。吾妻山の素晴らしい景観に癒され、野鳥のさえずりを聞きながら山道を下りました。



菜の花畑で昼食風景

平 節子 記 撮影者 渡辺 親

第20回いきいきシニア伊勢原祭り

伊勢原市長、参加者145人を激励
市、学ボラ、観ボラの共同主催

2月12日(日)午後より第20回いきいきシニア伊勢原祭りが伊勢原市中央公民館展示ホールで開催され、145人の参加者でにぎわい成功しました。

第一部は式典、鳥海増雄観ボラ会長、逢坂伸一学ボラ会長が歓迎の挨拶、続いて市長高山松太郎さんが「日頃の私たちの活動を評価し」激励、山内温子社会教育課長が励ましの挨拶をしました。

第二部は今回初登場、第18回いせはら市民大学文化祭として実施し、受講生の各班が創意と工夫をした豊かな演目を5組で披露しました。歌、ギター、ハーモニカ、マジック、言葉遊びなどあり「なかなかやるね」と拍手の連続でした。

第三部は民舞の友遊庭が和服姿で優雅に



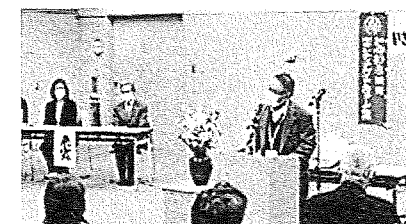
伊勢原市長 高山松太郎さん



学ボラ会長 逢坂伸一さん



社会教育課長 山内温子さん



観ボラ会長 鳥海増雄さん



甲冑隊による三献の儀

踊り、経験豊かなレクダ
ンスを軽やかにスマイル
クラブが踊り、大きな拍
手を得ていました。つづ
いて神奈川観光大使の伊

勢原手作りの甲冑隊が15人の総勢で甲冑を着
けて出陣前の「三献の儀」を演出して拍手喝
采でした。

第四部プロの歌手の出演で地元歌手東京セ
ントラルレコード専属歌手のおなじみの小倉
恵子さんが「あゝ太田道灌」「日向薬師の歌」
「恋の伊勢原夢の街」の3曲を熱唱してくれ
ました。参加者が歌に合わせて踊るといふパ
ーマンスもあり最高に盛り上がりました。

「伊勢原のシニアは元氣だー」の感想

司会者は市民大学受講生の赤間さんと清水さ
んが行いフレッシュコンビで進行を務め、観
ボラ役員、ガイド養成講座の受講生は、補講
として受講、会場の整備に協力して成功に貢
献しました。参加者は「20回も連続開催はす
ごいねー」「伊勢原のシニア元氣だねー」な
ど感想を述べて成功を実感していました。

観光ガイド養成講座
修学旅行

厚木市の資料博物館の見学へ

観光ガイド講座もほぼ日程
が終りに近い3月1日(水)
に修学旅行を行います。行先
はお隣の厚木市資料博物館の
見学です。当日は、学芸員の
講義と館内の見学です。

厚木の市の博物館は最近に
下川入に移転して広くなり、
設備も整っている博物館で
す。28人が参加の予定です。

ガイド講座修了式は

3月12日 記念講演は

晴れの修了式は3月12日
午後1時30分より伊勢原
市中央公民館3階会議室
Aで行います。一部式典と
修了証書交付、記念講演の
予定です。

観ボラ25周年記念誌
3月12日頃には発行予定
です。ご期待ください。

大河ドラマなど情報

署名は28万6千678筆に
前進しています。早く30万筆
を達成してNHKへの陳情を
したいと思っています。いきいき
祭りで義家弘介衆議院議員秘
書さんに要請しました。太田
道灌顕彰会(理事長太田資暁
さん)は今年のだげ忌法要を
4月2日に伊勢原上粕屋の洞
昌院で行います。

大山豆腐まつりに協力ボラ

3月18、19日大山豆腐まつり
が行われます。観ボラでは恒例
によりこの祭りを応援して、大
山菜と豆腐の調理と振る舞い
などに協力します。

3月17日山王中学校を案内

今年も一年生5組を授業の一
環として周辺ウォーク案内し、
若さと元気をもらっています。
詳細は協議中です。

出歩けば、思わぬ幸福 ⑦

観ボウ 副会長 前田秀資

2月16日に行われた企画ウォーク「曾我兄弟ゆかりの里と梅林めぐり」。

曾我兄弟が育った曾我の里を歩き、広大な梅林を愛でながら昼食を楽しみました。

実は、曾我は伊勢原となかなか縁が深いところ。南足柄市の大雄山最乗寺を開創した庵慧明禅師とその妹慧春尼は、下糟屋の亀井家の出身であると伝えられています。

禅師が最乗寺を開山する以前に開山したのが、上曾我にある竺王寺（ちくどじ）です。ワシが袈裟を持ち去り、現在の最乗寺があるところへ運んだという伝説があります。竺王寺にはその袈裟が保存されているそうです。

また、21世大井龍跳和尚は明治43年に自修学校を設立。湘北中学校・湘北高等学校へと発展し、その後伊勢原に移転。現在の向上高等学校の前身となったのです。

さて、これだけでも、なかなかの縁だと思えますが、さらに濃密エピソードがあります。ウォークの下調べをしていてわかったことですが、内容は次回で。

伊勢原川柳会（ひね朗会）1月期
いせはら市民大学サークル

テーマ「跳ねる」

物価跳ね軍備原弁また跳ねる
豆腐は四角跳ねる親父の売げ頭
物価跳ね賃金上がるか年金は

このみず

跳ね過ぎて岸田総理に民そっぽ
兎年飛躍願って牛のこと
卒寿期は飛びも跳ねるも無理きかず

栄泉

うさぎさんとても上手に飛びますね
ホップステップジャンプできない重たくて
跳びたいなああの空の彼方まで！

黒猫シジ

福袋こんではずんで大当たり
とび逃げるトカゲのしっぽ草のかけ
氷張る兎年の春はね起きる

康雄

「自由句」

九条を知らないソーリ廣島産
四半世紀聴かき嬉しボウ人生
牛馬並み焼き肉食べる孫二人

栄泉

ボケ防止川柳やってもダメかしら
正月ができる日本がありがたい
遠き日にしもやけてきた日本でも

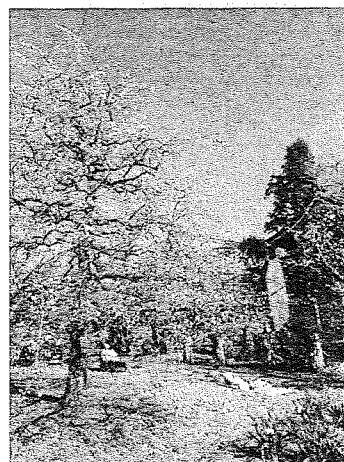
黒猫シジ

年明けた愚痴と皮肉また一年
手当てす政策無くてあと払い
岸田君良いことやらすはや向こう

このみず

増税で巡航ミサイルトマホーク
地方選人物本位決めました
こままわし大山参り初詣

康雄



『曾我兄弟ゆかりの里と梅林めぐり』にて

故郷は日本のチベット

観ボウ 幹事 三上利栄

故郷は日本のチベット。岩手県下閉伊郡（しもへいぐん）岩泉町2升石。3年前大豪雨で老人ホームが流失して9人亡くなったあの僻地だ。あの上流が私の生家のある所。有名なのは「龍泉洞」のある町だということ。地域は60軒、今は超限界集落。私もそこに帰れば5本の指に入る高齢者かも？小学4年生の時に電気がついたが、ダムが上流にできたために、川の水量が少なくなり、アユ、鮭は来ず、ウナギもいなくなった。遊びにも、栄養にも困った。

「小学クラス22人 賀状一枚もなし」
小学校で生存中かまだ数人いるはずだが、一枚も賀状来ない。卒寿となるとこうなるか？と出さない私が悪いのか？
ついでに、中学生120人中、2人。高校のクラス50人、2人。大学時代の友人も2枚。年齢だけでなく、コロナのせいもあるだろう。寂しい限り。かつて4万六千人いた故郷は、今は人口9千人弱と激減。逆に、あの小地域から首都圏に出てきている人は150人以上もいる。私が故郷会を立ち上げて28回もやっているが、顔はわからんが、屋号と方言は判るので、毎年40人は決まって方言遊びで、楽しんでる。

かつては盛岡までは2回のバスを乗り換えて6時間半かかったが、今は直行で2時間ちょっとで行く。東京も日帰りコースだ。176年前、あの地で百姓一揆が激しくあり、我が先祖はリーダーの一人で、山と川、小さな地域を草鞋履いて訪ねて賛同者を集めて1万6千人余のデモ隊を組織したという話には仰天だ。歴史はあるが、未来がないでは寂しい。

知恵ほしいふるさと救う未来道

2023年3月～4月 スケジュール

行事					
実施日・予定時刻					
難易度					
距離					
会費					
主なコース					
・歴史の町・伊勢原史跡巡り 今回は下糟屋地区周辺の神社、仏閣を巡ります。 ・三島神社の枝垂れ桜と春の野草 伊勢原の比々多、善波地区は大山を背景にする自然あふれる地区。かつての善波太郎のゆかりの遺跡を追いながら、桜と野草を見て歩きます。 ・千村の八重桜と花の頭高山ハイク 豪華な八重桜、チューリップ、丹沢山系大山の展望を楽しめます。 *アップダウンあります。 ・三宮例祭 六七二年に端を発する三宮祭り勇ましい掛け声の神輿、三基の山車巡行も必見。 *アップダウンあります。 ・あつぎつつじの丘公園と七沢森林公園 森林浴を楽しみながら、色鮮やかなつつじに会いに行きましょう。 *アップダウンあります。					
三月七日 (火)	三月二十四日 (金)	四月十日 (月)	四月二十二日 (土)	四月二十八日 (金)	
集合 伊勢原駅北口 九時三十分 解散 咳止め地蔵 十四時三十分頃	集合 伊勢原駅北口 九時 解散 坪ノ内バス停 十二時三十分頃	集合 伊勢原駅北口 九時 解散 渋沢駅 十四時頃	集合 伊勢原駅北口 十四時 解散 比々多神社 十六時頃	集合 愛甲石田駅北口 九時 解散 七沢森林公園 十四時頃	
★★	★★	★★★	★	★★	
約5km	約5km	約8km	約1km	約5km	
400円	400円	400円	400円	400円	
伊勢原駅北口→金山公園→市役所→道灌首塚→大慈寺→普濟寺→高部屋神社→丸山城址公園(昼食)→咳止め地蔵	伊勢原北口からバス→串橋入口下車→妙蔵寺(伝)善波太郎の墓→雷電神社→太郎の力石→三島神社→勝興寺→坪ノ内バス停 *昼食休憩はありません。	渋沢駅→國榮稲荷神社→千村八重桜→泉蔵寺(チューリップ)→白山神社→頭高山(昼食休憩)→大山、丹沢眺望→渋沢神社→渋沢駅	伊勢原北口からバス→神戸バス停下車→三宮参道→比々多神社(三宮祭り)	愛甲石田駅北口からバス→森の里五丁目下車→あつぎつつじの丘公園→七沢森林公園(昼食、散策)	
*コースは変更になる場合がありますご了承ください。降雨率40%以上は中止です。					
★ 初心者向けコース ★★ 一般向けコース ★★★ 健脚コース ★★★★ 長距離・健脚コース ★★★★★ 同左(大山山頂クラス 杖必要) 参加申し込みは下記で受け付けています。また雨天のときの問い合わせはお気軽に！ 電話・FAX (0463) 94-6188 (事務所・鳥海まで、17時以降) (行事の際、班長に申し込まれた方は、申込みの必要はありません)					

★事務局からのお知らせ

※コロナ対策のお願い

- ①ご参加の朝ご自宅体温を測り、三七・五度C以上や体調が悪い場合はご参加をご遠慮下さい。
- ②マスクの着用をお願いします。
- ③緊急事態宣言中はウォークを中止します。

ウォーク時は十分な距離(2メートル以上)を確保できる場合はマスクを外しても結構です。

④受付に非接触式赤外線体温計を用意しました。

- ※このウォークはどなたでもご自由にご参加できます。
- ◇ご参加の方は弁当、飲み物、雨具、健康保険証をご用意ください。

※参加費は四〇〇円とさせていただきます。

◇入会金無料、年会費一、二〇〇円です。但し、二月に入会される方は年会費二〇〇円です。

(二月、三月分です)

- ◇年会費受付中・三月末までにご利用します。
- ※会員の方は会員証をご持参ください。